

ノーベル賞・天野教授と連携

ポニー電機



長井真一郎社長

電子部品開発製造の
ポニー電機（藤岡市立
石新田、長井真一郎社
長は、ノーベル物理
学賞受賞者の天野浩名
古屋大教授と連携した
科学技術振興機構（J
ST）のプログラムに
参画し、次世代型の基
盤技術を開発する。ワ

イヤレスの給電システ
ムへの応用を見据えた
技術で、2022年度
までに一定の成果を上
げる。

システムはエネルギー
情報をインターネット
上で需給管理するとの
考え方がベース。例え
ば、商品配達用ドロー
ンが、配送中に無人で
も充電できるような工
ネルギー供給技術の構
築をイメージしてい
る。

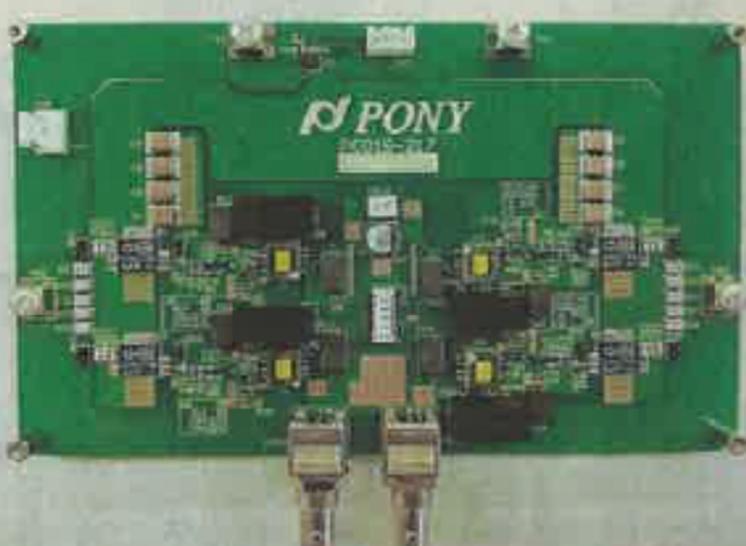
さまざまな課題をデ
ジタル革新で解決する
社会「ソサエティー5
・0」の実現に向けた

次世代基盤技術開発へ

配送ドローン無人で充電

取り組みの一環。同社
は「パワー・エレクトロ
ニクス」と呼ばれる電
力用半導体を活用する
技術分野での研究実績
が評価され、富士電機
やシャープといった大
手企業などと共に5年
間のプログラムに加わ
った。

さまざまな課題をデ
ジタル革新で解決する
社会「ソサエティー5
・0」の実現に向けた

研究中のワイヤレス
給電用基板